



しゅうにん あいさつ 就任のご挨拶

いっばんしゃだんほうじんいわてけんしょう しゃすぼーつきょうかい
一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

かいちょう ひらふじ じゅん
会長 平藤 淳

このたび、一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会の会長に就任いたしました平藤淳です。就任にあたりご挨拶を申し上げます。

これまで岩手県内の障がい者スポーツ振興は、長い間、岩手県障がい者社会参加推進センターが行ってきておりましたが、現在は、2016年の希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催を契機として2017年に設立された当協会が、多くの障がい当事者団体や岩手県とする関係機関・団体などと連携して行っております。これまで、いろいろなお立場で様々な活動をなさってこられた関係者の皆さまに感謝するとともに、その考え方やお気持ちを尊重して障がい者スポーツの振興にあたる所存です。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

さて、当協会は「Sports For All」の考えに基づき、障がいのある方々が一人でも多くスポーツに参加できるよう、競技スポーツの推進、生涯スポーツの推進、そして、リハビリテーションスポーツの推進の3分野を中心としながら、既存クラブ・団体活動の推進と新たな連携の構築、さらに、インクルーシブスポーツの活用による、社会課題解決へのアプローチや共生社会づくりの推進を図るという5つの観点で事業を進めてまいります。

障がいのある方もない方も、多くの方々がスポーツに参加し、楽しく豊かな生活を送ることができるよう、広く県民の皆さまの理解を深めながら、事業に取り組んで参りますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。 ※令和5年6月30日就任

CONTENTS



- 会長就任あいさつ (P1)
- 特集記事
P2 / 岩手県卓球バレー交流大会 2022
- 事業報告 (10月以降～2月初旬)
P3 / パラスポーツ研修会、第4回あまちゃんカップ 他
P4 / グラウンドゴルフ釜石鶴住居交流大会 他
P5 / 第22回全国障害者スポーツ大会 (いちご一会とちぎ大会) 他
P6 / チャレスポおうしゅう、グラウンドゴルフ大船渡交流大会 他
P7 / PTのための中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 他
P8 / 第3回大船渡さんまカップ、J-STAR プロジェクト 他
P9 / ピアサポート研修会、パラリーナ杯卓球バレー交流大会 他
P10 / 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 他
P11 / パラスポーツ体験&陸上練習会 他
- 会員紹介 (P11～12)

ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会
岩手県障がい者スポーツ指導者協議会
岩手県卓球バレー協会
TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626
E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp

岩手県卓球バレー交流大会 2022

期日：令和4年10月16日（日）

会場：ふれあいランド岩手



学生の参加で大いに盛り上がる！

本大会には岩手リハビリテーション学院の理学療法学科1年生約40名が参加しています。当協会では2年前より、同校の体育の授業を担当しています。これをきっかけに体育の現場実習として学生さんが参加しています。この日の先生は参加する選手やスタッフの皆さんたちです。学生は4チームに分かれ、授業での教えのとおり、真剣勝負で挑みました。

卓球バレーチームは年齢が高めの大ベテラン？選手が多く、お孫さんに会う感覚で楽しみにしている方も多いです。試合の合間には学生さん呼び出し技術指導の時間となります。学生さんたちは教えに従い、一生懸命に打ちまくっていますが、これがまたとても微笑ましいシーンでした。

また、惜しくも敗退した学生さんが悔し涙を流すシーンもありました。授業では、重い障がいがある方や高齢者だからといって手を抜かずに本気で勝負するようお伝えしましたが、この教えを忠実に守った証なのかもしれません。今日は理学療法士を目指す皆さんにも、障がいがある＝能力差があるという固定概念をくつがえす1日になったようです。



▲①アスレクトチームと対戦する岩りハチチーム、②開会式の様子～少しずつ参加チームも戻りつつあります。

希望郷いわて大会の開催記念

2016年10月に、ここふれあいランド岩手において、希望郷いわて大会のオープン競技として卓球バレーの全国大会が開催されました。本大会は、この大会を記念する大会で2017年から継続して開催しています。ここ数年はコロナ過により、参加チームが減少しています。今回の参加チームは競技性の高いチャレンジクラスに14チーム、交流を主目的とするわんこクラスに3チームが参加しました。

新型コロナの影響による参加自粛ムードが少しずつではありますが緩和されてきているように思います。今回も感染症対策をしっかりと行い、参加者が安心して大会に参加できるよう配慮しながらの運営となりました。



▲2016年希望郷いわて大会の様子。全国から40チームが参加して東日本では初めての全国大会が開催されました。参加者は選手・スタッフを併せて750名以上。全国的に卓球バレーが広がるきっかけを作る大会となりました。当協会ホームページのトップページでもおなじみの画像です。

県内無敗！絶対王者アスレクト

アスレクトチームは全国大会でも2位になった実績がある強豪チームで、ここ数年間は、県内無敗の絶対王者です。アスレクト包囲網を破り、今回も見事に優勝しました。卓球バレーはどちらかというと競技性の低い印象がありますが、チーム戦術とそれを遂行する技術を磨くことが重要です。アスレクトチームはこの2つの両立する模範的なチームと言えるでしょう。

パラスポーツ研修会（盛岡市議会スポーツ振興議員連盟）

◆期日：令和4年10月4日（火）◆会場：盛岡体育館（盛岡市）
 ◆レポート：今回は盛岡市議会のスポーツに関心のあるメンバーが20名ほど参加して障がい者スポーツに関する研修として講義とポッチャの体験会を行いました。最初に県内における障がい者スポーツの現状と課題についてお話させていただき、そのあとはポッチャの体験会を行いました。まず簡単にルール説明を行い、続いて4チームに分かれて交流試合を行いました。ゲームを繰り返すうちに白熱した展開になり、かなり盛り上がっていました。ポッチャの面白さを感じていただくには十分でした。また、年齢・性別や障がいの有無にかかわらず楽しめるスポーツであることも十分にご理解いただきました。今後、地域交流のツールの1つとして活用していただくことを期待します。



第4回あまちゃんカップ（卓球バレー久慈交流大会2022）

◆期日：令和4年10月9日（日）◆会場：久慈市民体育館（久慈市）
 ◆レポート：あまちゃんカップは卓球バレーを通じた共生社会づくり推進の取組みとして2018年にスタートしました。当初からJICAの課題別研修「スポーツを通じた障がい者の社会参加促進」研修生が9か国から参加する国際大会として実施されました。しかし、2020年からコロナ禍によりJICA研修は中断しています。参加チーム数は2019年の24チームをピークに減少し、今回も8チームの参加にとどまりました。また、新たな取組みとしてパラスポーツと地域防災を絡めた講習会も実施しました。卓球バレーの参加者には重度障がい者や高齢者など災害弱者も含まれており、地域防災における新たな視点を加えた形での実施となりました。なお、大会運営は初めて実行委員会を組織して行いました。これまでも福祉やスポーツなど関係部署が横につながる機会となっていましたが、運営主体を組織化することにより地域主体型の大会への移行を目指していきたいと思います。



▲①開会式の様子～参加チームは8チームとなり、地域ではまだまだ新型コロナの影響があることが伺える。②今回より実施した地域防災講習会。内容は車いす利用者をいかに迅速に避難するための福祉用具体験でした。③あまちゃんチーム（手前）対久慈市身障協（奥）との対戦。主審：竹高、副審：藤原。④さんさ（手前）対にこにこA（奥）との対戦。主審：及川、副審：東

『パラテニス体験教室を開催！』

◆期日：令和4年10月10日（月祝）
 ◆会場：盛岡市立太田テニスコート（盛岡市）
 ◆レポート：今回の企画は岩手県テニス協会の主催の下、株式会社MAYAホールディングスの協賛により、仙台市のパラテニスサークル「カラフルズ」コーチの加藤和孝さんを講師にお招きして行われました。参加者は盛岡となん支援学校の生徒や体験希望のあった普通高校の生徒など15名ほどで加藤さんの指導のもとウォーミングアップから始まり、車いす操作に苦戦しながらも徐々にラリーができるようになっていきました。今回の事業をきっかけにパラテニス普及活動を継続してジュニア育成やこれまで取り組んできた往年のプレイヤーの活動と合わせて拠点整備につなげたいと思います。



『グラウンドゴルフ釜石鶴住居交流大会』を開催！

- ◆期日：令和4年10月13日（水）
- ◆会場：釜石鶴住居復興スタジアム（釜石市）
- ◆レポート：会場は2019年ラグビーワールドカップの会場である釜石鶴住居復興スタジアムです。2020年より開始して今年で3回目となりました。釜石市の協力により実現した事業で素晴らしいスタジアムでのプレーを楽しみに年々参加者が増えています。地元、釜石市グラウンドゴルフ協会会員をはじめ県内各地から約80名が参加。プレーヤーだけでなく、見学を希望される方もおり、ワールドカップの会場を一目見てみたいという方も多いようです。

さて、前日までの大雨によりグラウンドコンディションが心配されましたが、水はけが素晴らしく問題ありませんでした。参加者は16組に分かれて赤コース・青コースの合計16ホールをプレーし、障がい者クラスとオープンクラスのそれぞれ男女別に順位を競いました。今後も障がいの有無に関わらず参加できる事業としてさらに拡充していきたいと思えます。結果は以下のとおりです。



男性・個人の部（2ゲーム合計）
 第1位：40点／藤井 公博さん（花巻）
 第2位：43点／小岩 寛さん（大槌）
 第3位：45点／小山 富治さん（一関）

女性・個人の部（2ゲーム合計）
 第1位：47点／富松 ハヤさん（金ケ崎）
 第2位：50点／伊藤 三智子さん（一関）
 第3位：53点／菊池 修子さん（花巻）

団体の部（上位5名の合計点数）
 第1位：242点／東和
 第2位：250点／いちのせきB
 第3位：261点／花巻・石鳥谷

第2回卓球バレー指導者養成講習会を開催！

- ◆期日：令和4年10月15日（土）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：本年度、2回目の卓球バレー指導者養成講習会です。本講習は、例年大会前日に実施していますが、地域からの要望があれば出前形式での講習も実施しています。本講習により日本卓球バレー連盟の公認指導者及び3級審判員（ただし、3級審判は毎年度更新手続きが必要）の資格を取得することができます。また、卓球バレーの強豪チームであるアスレクトが講習会の補助を担当しています。卓球バレーは選手がプレーするだけでなく、普及活動にも携わりながら行っているのも特徴です。



▲講習会は座学と実技で3時間～4時間で行います。

『ボッチャ体験教室（@古館公民館）』

- ◆期日：令和4年10月19日（木）
- ◆会場：古館公民館（紫波町）
- ◆レポート：ボッチャ熱が高まる紫波町古館地区での開催で今回が2回目の訪問となりました。公民館では新たにボッチャセットを購入して地区の行事などに活用したいそうです。これで、ますますボッチャが盛り上がるといいですね。参加者は20名ほどでした。最初にルール説明をして、すぐに3コートに分かれてボッチャを楽しみました。試合は相互審判制として、参加者が主体的な活動になるように配慮して行いました。皆さん、ボッチャの面白さを十分に感じていただけたようでした。



『ユニバーサルスポーツサポーター養成講習会（ボッチャ編）』

- ◆期日：令和4年10月21日（金）
- ◆会場：滝沢市市民文化センター（滝沢市）
- ◆レポート：本講習会は滝沢市社会福祉協議会の主催事業として行われ、当協会が講師を担当しております。同協議会ではボッチャや卓球バレーといったユニバーサルスポーツを通じた共生社会づくりに積極的に取り組んでいます。福祉向上のためには共生社会推進の考えは効果的であり、そこにスポーツを組み合わせることにより障がいの有無や年齢、性別を問わずに関わり持ちやすい環境につなげるというモデルケースです。今後、このような動きが県内各地にそして全国でも主流となっていくことを期待します。



『第 22 回全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）』

◆期日：令和 4 年 10 月 27 日（木）～11 月 1 日（火）

◆会場：栃木県（カンセキスタジアムとちぎ 他）

◆レポート：実に 4 年ぶりの全国障害者スポーツ大会派遣であった。2019 年の茨城大会は台風で一度は出発したものの、行きの新幹線車内で大会中止の連絡が入り、上野から岩手にとんぼ帰り。2020 年、2021 年はコロナ過により中止。コロナ感染症が急増するたび「また中止か」と不安に思う方も多かったはず。出発前から PCR 検査、大会期間中はほぼ毎日、抗原検査を実施するなど厳戒体制での参加でした。久しぶりの全国大会で岩手県選手団は躍動しました。終わってみれば 2016 年希望郷いわて大会をのぞくと過去最多のメダル獲得数となりました。選手の皆さんの活躍とそれを支える指導者や支援者の皆さんのご尽力に感謝を申し上げます！



パラスポーツ体験会 「YOU'RE THE RIGHT FESTIVAL」

◆期日：令和 4 年 11 月 5 日（土）◆会場：北上総合公園体育館（北上市）

◆レポート：本事業は北上青年会議所とのコラボ事業で昨年度から準備を進めてきました。障がいの有無、年齢、性別を問わず誰もが住みやすい街にするために私たちは何を目指したら良いのか。パラスポーツ体験を通して多くの方々との交流の中でそのヒントを見つけようとするイベントです。当日はポッチャ、卓球バレー、シッティングバレーボール、ブラインドサッカーに車いすバスケットボールとプログラムも盛りだくさん。飲食ブースとして「あったか横丁」を併設したり、数々のコンクールで受賞している上野中学校吹奏楽部のオープニングアクトなど体験コーナー以外にも見どころ満載の事業でした。当日の来場者は 1,000 人を超え、大盛況！ご協力いただいたパラスポーツ関係者の皆さん、そして主催者である北上青年会議所の皆様のご尽力に感謝を申し上げます。ぜひ今後もこのような企画をとおして共生社会の推進に取り組んでまいりたいと思います。



▲①イベント開始前に集合写真を撮影。「今日ががんばりましょう！」②車いすバスケットボールの体験ブース。通常のゴールには届かない子供たちは、ミニゴールをターゲットに。③シッティングバレーボールの体験ブース。④卓球バレーの体験ブース。⑤ポッチャはミニコートで実施しました。

『チャレスポおうしゅう』に参加

◆期日：令和4年11月6日（日）◆会場：奥州市ふれあいの丘公園
 ◆レポート：本事業はチャレスポおうしゅう実行委員会が主催し、様々なスポーツ・レクリエーションに見て・触れて・体験できる場を提供するとともに各種目の競技人口の拡充を図りながらスポーツに取り組むきっかけづくりを目的としている。昨年はポッチャと卓球バレーの2種目のブースを担当したが、参加希望者がとぎれることなく、朝から終了まで全く休憩をとることができない状態であった。その反省をもとに今回は種目をポッチャのみとしてスタッフ数もゆとりをもって準備した。昨年よりもやや参加者が少ないように思ったが、多くの方にポッチャを楽しんでいただいた。



『グラウンドゴルフ大船渡交流大会』を開催！

◆期日：令和4年11月7日（月）◆会場：赤崎グラウンド（大船渡市）
 ◆レポート：本年度5回目のグラウンドゴルフ大会である。赤崎グラウンドは人工芝の多目的コートで普段はサッカー等の利用が多い。また駐車場から会場までの移動距離も短く、障がいのある方にも配慮された施設といえる。今回は会場予約から競技運営まで大船渡市グラウンドゴルフ協会より全面的にバックアップいただいた。当日は大船渡市を中心に50名ほどが参加。いつもどおり赤青コースの16ホールの合計打数で順位を競った。この時期としては暖かい天気であった。人工芝グラウンドがとてもプレーしやすく車いすの利用者からも大好評であった。参加者からもぜひ来年も企画してほしいとの声が多かったため、継続的に実施したい。結果は以下のとおりである。



男性・個人の部（障がい者）

1位/千葉 源治（大船渡）/39点
 2位/金 信昭（大船渡）/41点
 3位/豊嶋 忠男（大船渡）/43点

女性・個人の部（障がい者）

1位/柳澤 キエ（北上）/48点
 2位/伊藤 妙子（花巻）/52点
 3位/今野 房子（大船渡）/52点

オープン部門（男性）

1位/佐々木 亨/35点
 2位/畑中 秀一/39点
 3位/炭釜 富士男/40点

オープン部門（女性）

1位/村上 洋子/39点
 2位/木下 己波留/42点
 3位/黒澤 利津子/43点

『ポッチャ体験会に参加しました（軽米町）』

◆期日：令和4年11月9日（木）
 ◆会場：軽米町民体育館（軽米町）
 ◆レポート：軽米町の年金友の会のレクリエーション大会においてポッチャの体験会を実施しました。多くの方に参加いただきポッチャの面白さを体験していただきました。今後は老人クラブの活動や地域でのレク大会に活用したいとのことでした。ぜひポッチャの輪を広げていただきたいと思います。



『福祉体験会（宮古市立第一中学校）』

◆期日：令和4年11月10日（金）
 ◆会場：宮古市立第一中学校（宮古市）
 ◆レポート：宮古圏域障がい者福祉推進ネット（レインボーネット）が主催する福祉体験会に参加。当協会は卓球バレーを担当しました。その他にもポッチャ、ゴールボールなどのパラスポーツ体験を行いました。最後に生徒から合唱のプレゼントがあり、ほっこりしました。関係者の皆様、ありがとうございました。



第6回岩手県ユニバーサル麻雀交流大会

◆期日：令和4年11月13日（日）◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
 ◆レポート：回を重ねて6回目の開催となるユニバーサル麻雀大会。本事業の目的は通常のスポーツでは参加困難な方も対象に含んでいます。オンラインでの参加がその可能性を広げます。しかしながらまだまだ周知不足でオンラインをはじめとするテクノロジーを本当に必要としている方にはまだ届いていないように思います。さて、今回もオンライン上ではありますが、熱いバトルが展開されました。午前中は予選リーグです。ランダムで東風戦を3回行い、上位8名が午後の準決勝に進みました。準決勝からは東南戦の各卓の上位2名が決勝に進出します。最終結果は以下のとおりです。第1位：旗良（きよし）さん、第2位：じじわたなべさん、第3位：浮かぶせいうちさん（氏名はプレイヤー名です）。



▲使用アプリは人気の「雀魂（じゃんたま）」

PTのための中級障がい者スポーツ指導員養成講習会

- ◆期日：令和4年11月19日（土）、20日（日）、26日（土）、27日（日）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：本県での障がい者スポーツ振興事業において医療・リハビリ系の職員の協力は欠かせないものとなっています。一般的に理学療法士（以下、PTという）というトレーナー資格を持ち、アスリートに対してトレーナー業務を行うイメージがあります。しかし、実際の現場はスポーツの経験値の少ない方への支援が圧倒的に多いです。これに基づくPTの活躍の場は少ないように感じますが、経験値の浅い方の支援、つまりスポーツ導入時こそPTの力が必要になってきます。スポーツ導入時には安全に配慮しながら効果的な運動を行う必要があります。「またやりたい」を引き出すためにはPTや作業療法士（OT）の力が必要となります。さて、今回もコロナ過の影響により受講者は6名（県内からは1名）と少な目でしたが、皆さんパラスポーツに積極的に関わろうとする意欲が素晴らしい方々で4日間の充実した講習会となりました。



第2回さんてつカップ（卓球バレー宮古交流大会2022）を開催！

- ◆期日：令和4年11月23日（水祝）
- ◆会場：宮古市民総合体育館（シーアリーナ）
- ◆レポート：宮古での卓球バレー交流大会は2017年にスタート。2019年には大会愛称として第1回さんてつカップとなった。今回は4年ぶりの開催となった。参加チームは6チームであった。クラスを統合して総当たり戦でたっぷり試合を楽しんだ。試合は1セット15点の2セットのみ行い、勝ち点制を採用した。地元、宮古市では宮古市身障センターが卓球バレーの活動拠点となっている。毎週火曜日の午前中に練習を行い、腕を磨いている。久しぶりの大会とあって気合十分。宮古市身障福祉会が3勝2分けで見事優勝した。



▲花巻と宮古の身障協対決！

ボッチャ体験教室（盛岡市見前地区保健推進員）に参加しました

- ◆期日：令和4年11月29日（火）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：ここ数年、総合型地域スポーツクラブ「い～はと～ぶ」の村里さんとボッチャでつながる機会が増えている。今回は盛岡市の保健推進員を対象にボッチャ体験を行った。保健推進員の皆さんは仕事柄、多様な方々と接する機会が多いようである。ボッチャはインクルーシブスポーツの代表であり、ボッチャの魅力を感じていただくとともに地域のあらゆる交流事業に活用できるツールであることも理解いただけたと思う。



インクルーシブスポーツ交流大会『第3回大船渡さんまカップ』を開催

◆期日：令和4年12月4日（日）◆会場：大船渡市民体育館（大船渡市）

◆レポート：過去2回は卓球バレー交流大会として実施。今年度は県の委託事業である「インクルーシブスポーツ推進事業」に合わせて午前の部として卓球バレー大会、午後の部はポッチャ大会という欲張りな事業となった。大船渡といえば県内では一番とってよいほどポッチャが盛んな地域である。今でこそポッチャの勢いはすごいものがあるが、大船渡は歴史が違う。おそらく20年以上前からポッチャに取り組んでいて、現在も定期的に大会が開催されている。

さて、卓球バレーには16チーム、ポッチャには28チームが参加した。コロナ過ではあるが多くの皆さまに参加いただいた。卓球バレーはクラス別に参加者を募集している。クラス名は地域にちなんだ名称にしており、さんまカップでは競技性の高いクラスを「さんまクラス」、勝敗よりもとにかく楽しもうという「つばきクラス」、初心者や体験希望者でも参加OKの「ころ柿クラス」としている。さんまクラスには3チーム、つばきクラスが8チーム、ころ柿クラスが5チームの合計16チームであった。今回も障がい者関係者に加えて大船渡市グラウンドゴルフ協会や老人クラブ関係者など普段はあまり接点のない方々が卓球バレーを通して交流を深めた。勝敗よりも交流といいながらも、ポイントのたびに湧き上がる一喜一憂の声や白熱のプレーに見ているほうも笑顔になってしまった。

続いてポッチャは1次リーグと2次リーグの成績により順位を決定した。試合はすべて2エンドマッチとして同点の場合はファイナルショットで勝敗を決した。ポッチャ初体験という方を含めて28チームが参加。最初に全体でルール説明と試合の流れを確認し、セルフジャッジを基本として試合を行った。



▲①奥：岩手・気仙沼合同チーム、手前：宮城気仙沼チームの対戦。主審：山内（宮城協会）、副審：菅原（アスレクト）②奥：一関A対手前：大船渡身障協の対戦。主審：新里（岩手協会）、副審：及川（岩手協会）、③毎回参加していただいている気仙沼の千葉選手



J-STAR プロジェクト（第6期生）

パラリンピック測定会が開催されました！

◆期日：令和4年12月11日（日）◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：本事業はパラリンピック競技における選手発掘事業で全国10ブロックで開催されています。今回は東北ブロック開催となりますが本県では初開催でした。実施内容は主に体力測定と中央競技団体による面談です。今回は書類選考（第1ステージ）を通過した選手20名（本県は9名通過）が第2ステージである本測定会に参加しています。また、測定会の協力スタッフとして本県の理学療法士7名、作業療法士2名が障がい者スポーツ指導員枠で参加協力いただきました。スタッフの業務は測定補助が中心ですが、岩手のスタッフは手際よく対応しており大変心強く思いました。

スタッフは当日の9時半に集合。全体ミーティング後、選手受付までは測定方法の確認及びレクチャーを行いました。11時半からは選手受付が始まりました。12時からは参加者のオリエンテーションを行い、グループ分けによりそれぞれの測定が始まりました。測定後は中央競技団体のブースを設置し面談を行いました。全体を通してとてもスムーズに運営されていると感じました。今回の20名の中から次のステージである専門測定会に何名進めるのでしょうか？本県の若手トップアスリートも多数参加していましたので期待したいと思います。



ピアサポート研修に参加！

- ◆期日：令和4年12月17日（土）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：本研修会は全国脊髄損傷者連合会・北海道東北ブロック会が主催する事業で事業名のとおり障がい当事者による活動を活性化させていくことを目的としている。今回はパラスポーツをテーマに当協会から「障がい者スポーツの現状」、参議院議員の横澤高德さんから「チェアスキー」の講和などに続き、実技として本県強化指定選手である遠藤豊さん指導の下にボッチャ体験を行った。



パラリーナ杯卓球バレー交流大会 2022

- ◆期日：令和4年12月18日（日）
- ◆会場：岩手県勤労身体障がい者体育館・パラリーナ（盛岡市）
- ◆レポート：今年もパラリーナ杯には5チームが参加して総当たりで順位を競った。参加したのは「アスレクト」「杜の小径」「もりおかTVC」「さんさ」「まるこ大盛」であった。選手は小学生から80歳代まで障がいのあるなしに関わらず参加していた。また最近では選手からも審判協力いただくことが多くなった。今後の審判不足に対応するにはチームの帯同審判制を検討する必要がある。選手にとっても試合に出場するだけでなく、運営もサポートすることは主体的な活動となり、意義があることである。



インクルーシブな視点で地域スポーツを考えるシンポジウム

- ◆期日：令和4年12月24日（日） ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：本事業は岩手県体育協会の主催事業として行われ、当協会はパネリストとして参加しました。第1部では大船渡市の今野房子さんと岩手県立療育センターの齋藤貴大さんのお二人から話題提供。その後、ユニバーサルスポーツを話題としてパネルディスカッションを行った。今野さんからは障がい当事者の視点で競技として取り組む水泳やユニバーサルスポーツであるボッチャと卓球バレーの取組みについての発表があった。齋藤さんからは理学療法士として勤務する同センターでのスポーツ活動を通じた社会参加支援の取組みが発表された。パネルディスカッションでは岩手大学の浅沼先生がファシリテーターとなり、ユニバーサルスポーツの活用と普及の取組みや地域で定着化されるために必要となるアプローチなど活発に意見交換が行われた。第2部ではボッチャの県内のトッププレイヤーである遠藤豊選手と大矢康生選手をお招きして、競技のデモンストレーションと体験会を行った。トップレベルの高い技術は素晴らしいものがあった。その後、お二人からボッチャ指導をいただきながらの楽しい体験会となった。



令和4年度沿岸地区初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催！

- ◆期日：令和5年1月7日（土）～9日（月祝）
- ◆会場：夢アリーナたかた（陸前高田市）
- ◆レポート：本講習会は日本パラスポーツ協会公認の障がい者スポーツ指導員養成講習会である。そのうち本県では初級講習を県央地区と沿岸地区の2回に分けて開催している。特に地域での指導者不足の解消は障がいのある方々のスポーツ参加環境整備には必須の要素となる。公認資格は21時間のカリキュラムとなるため最低3日間の講習が必要である。7月の海の日を含む3連休は県央地区、年明け1月の最初の3連休は沿岸地区としてここ数年は陸前高田市の夢アリーナたかたを会場として実施している。さて、今回は地元の体育協会やスポーツ施設の職員や総合型地域スポーツクラブの関係者など8名が受講した。受講動機を伺うとそれぞれの立場において障がいのある方々を積極的に受け入れたいとのことであった。とてもたのしい声をいただいた。この講習会をきっかけに日常的に障がいのあるなしに関わらずスポーツで交流できる環境づくりが進むことを期待します。



ポッチャ体験教室（緑ヶ丘地区）

- ◆期日：令和5年1月12日（木）
- ◆会場：薬王堂緑ヶ丘店（盛岡市）
- ◆レポート：ポッチャは老人クラブや町内会からも注目を集める種目でここ数年、体験希望のリクエストが増えている。今回は緑ヶ丘地区町内会においてポッチャ体験会を行った。会場は薬王堂の2階であったが、店舗の2階にこのような集会所があることを知らなかった。参加者は10名程度であった。全体でルール説明を行い、4チームに分かれて2コートで総当たりでゲームを行った。地域での親子三世代交流をはじめ様々な場面で活用できるポッチャの魅力を感じていただけたと思う。



令和4年度中級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催

- ◆前期日程：令和5年1月14日（土）～15日（日）、1月21日（土）～22日（日）
- ◆後期日程：令和5年3月11日（土）～12日（日）、3月18日（土）～19日（日）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：本講習会は（公財）日本パラスポーツ協会公認の指導員資格で初級取得後、2年経過+80時間以上の活動実績があることが受講条件となっています。中級講習の基準カリキュラムは57時間以上ですので最低でも8日間の受講が必要となります。岩手の場合は土日の2日間×4週の8日間で実施しますが、受講する方にとっては負担は大きいです。なお、自治体レベルで毎年開催しているのは本県のみのようなので、今回は県外も含めて5名の受講者となり、例年の半分ぐらいの人数となりました。各講義とも素晴らしい講師陣により充実した内容となりました。長丁場ですが得るものも大きいと思います。また、中級資格を取得された皆さんは現場のリーダーとして活躍されることが多いです。今回、受講された皆さまも是非各地域において障がいのある方々のスポーツ参加の環境整備に貢献いただくことを期待しています



令和4年度『障がい者スポーツ特別研修会』を開催！

- ◆期日：令和5年1月29日（日）◆会場：ふれあいランド岩手◆テーマ：障がいのある人とない人が共につくる共生社会
- ◆講師&パネリスト
近藤 大輔 氏（株式会社ブリヂストン社会貢献・AHL 推進課課長）
鎌倉 幸子 氏（一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ共同代表）
橋本 大佑 氏（一般社団法人コ・イノベーション研究所代表理事）
- ◆レポート：前回の研修会では当事者の主体性を引き出すための支援の方法に注目しました。今回は「共につくる」をテーマにしました。講師の皆さまには企業として法人として様々な社会貢献活動のあり方をお話いただきました。また今回は実技として実際にインクルーシブスポーツの代表である卓球バレーや多様な集団に対して効果的なプログラムを体験していただく時間を設けております。その後、講師とファシリテーターによるパネルディスカッションに会場からの質疑を加え、活発な意見交換を行いました。



パラスポーツ体験&陸上練習会を開催しました

◆期日：令和5年2月4日（土）～5日（日）

◆会場：富士大学スポーツセンター

◆レポート：この2日間、富士大学との連携事業として実施した。陸上練習はパラアスリートを対象に2日間を通して行い、4日には花巻・遠野の地域連携事業として小中学生等を対象にパラスポーツに関する講演やパラスポーツ体験を行った。とても盛りだくさんの内容であった。体験会では今年度、国の助成により購入したフレームランナーや子供用レーザーのお披露目となった。障がいのあるなしに関わらず子供のころから当たり前のように一緒にスポーツを楽しめるような社会。当協会が目指すゴールの1つでもある。富士大学では地域連携に積極的に取り組んでいるので、当協会単独では構築できないネットワークも活用させていただけるメリットがある。今後も様々な形での連携を模索していきたい。



株式会社アウトレジャー様より寄付金を贈呈いただきました

◆期日：令和5年3月24日（金）

◆レポート：当協会が運営するイベントにおいてお世話になっている株式会社アウトレジャー様より寄付金をいただきました。昨年に引き続き、通算3度目の寄付金贈呈となりました。当日は同社代表取締役の小塚久司様にご来館いただき、当協会の藤井会長に寄付金を贈呈いただきました。心よりお礼申し上げます。

県障がい者スポーツ大会をはじめ、ふれあいフライングディスク交流大会、岩手県ユニバーサル麻雀大会、ふれあい音楽祭、ふれあいランド岩手祭など様々な福祉イベントをお手伝いいたしております。今後ともよろしくお祈りいたします。



▲左：株式会社アウトレジャー代表取締役の小塚久司様と同協会の藤井公博会長

正会員一覧（団体）

岩手県 ID バasketボール連盟 / (一社) 岩手県作業療法士会 / (社福) 岩手県視覚障害者福祉協会 / (社福) 岩手県社会福祉協議会 / (社福) 岩手県社会福祉事業団 / (社福) 岩手県身体障害者福祉協会 / 岩手県スポーツウエルネス吹矢協会 / (NPO) 岩手県精神保健福祉連合会 / 岩手県知的障がい者サッカー連盟 / 岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ / 岩手県特別支援学校連絡協議会 / 岩手チェアスキークラブ / 岩手リハビリテーション学院 / (株) オイラー / (一社) コ・イノベーション研究所 / サークル「ゆうの会」 / (社福) 自立更生会 / (社福) 新生会 / 全国脊髄損傷者連合会岩手県支部 / (社福) 手をつなぐ / (株) トラスト保険 / ドルフィンズ岩手 / (株) 富山冷機工業所 / 山口北洲印刷 (株) / ラッセル岩手 (※太字下線は新規入会)

正会員一覧（個人）

阿部 史憲 / 伊藤 昇 / 井上 勝巳 / 井上 君之 / 今宮 正彦 / 岩淵 典仁 / 上村 弥 / 及川 貞之 / 小江 巧 / 小原 敏弘 / 軽石 義則 / 菊池 幸子 / 小坂 亜純 / 佐々木 君夫 / 佐々木 茂 / 笹木 正 / 佐々木 満 / 佐藤 勝士 / 佐藤 慎二 / 佐藤 隆秀 / 佐藤 佑哉 / 篠原 政良 / 白藤 友一 / 菅原 幸二 / 高橋 修 / 中野 正紀 / 野辺地 省吉 / 平藤 淳 / 藤井 公博 / 三浦 拓朗 / 民部田 誠 / 横沢 高徳

賛助会員一覧 (団体) 令和6年2月1日現在 (五十音順)

アーク株式会社/株式会社アースデザインコンサルツ/株式会社アイエムアイ/株式会社アイシーエス/株式会社IBC岩手放送
 株式会社アウトレジャー/株式会社青紀土木/いしどりや眼科/株式会社 一条工務店仙台/ (一社) 岩手県医師会
 (一社) 岩手県建設業協会/岩手県産株式会社/岩手建設工業株式会社/岩手県都市ガス協会/(一社) 岩手県理学療法士会
 岩手スポーツ用品販売株式会社/いわて生活協同組合/岩手電工株式会社/岩手トヨペット株式会社/株式会社 岩手日報社
 岩手雪運株式会社/岩手リオン補聴器センター/イワフジ工業株式会社/江刺岩手ライオンズクラブ
 株式会社エツリコ・エンジニアリング/株式会社エヌエスオカムラ/株式会社FPホームサービス/株式会社遠忠/桜心警備保障株式会社
 岡崎建設株式会社/有限会社小沢商会/株式会社カガヤ/鎌田水産株式会社/株式会社川徳/株式会社管文/株式会社菊地建設
 株式会社北日本銀行/北日本建機工業株式会社/北日本通信株式会社/株式会社久慈設計/栗原建設株式会社/小岩金網株式会社
 株式会社公楽/株式会社小林精機/株式会社齊藤興業/株式会社佐賀組/株式会社佐武建設/株式会社佐藤興産/株式会社佐藤政行種苗
 株式会社志百家/株式会社ジャスト・コンサルタント/株式会社寿広/昭栄建設株式会社/白金運輸株式会社/有限会社新栄観光バス
 株式会社新興製作所/株式会社スパット北上/住田フーズ株式会社/株式会社関建設/有限会社タイガースポーツ
 太平洋セメント株式会社大船渡工場/株式会社丹野組/株式会社テレビ岩手/東北エンジニアリング株式会社/東北資材工業株式会社
 東北住建株式会社/東里工業株式会社/株式会社都南建設/トヨタカローラ岩手株式会社/株式会社中野製麺/株式会社日盛ハウジング
 日本身体障害者団体連合会東北事業所/ネットヨタ岩手株式会社/橋爪商事株式会社/株式会社長谷川建設/東野建設工業株式会社
 株式会社ヒューマンライフ/ヒロヤ株式会社/府金製粉株式会社/株式会社藤沢体育堂/株式会社ベルジョイス/北良株式会社
 株式会社マイヤ/株式会社丸江/株式会社マルノ/株式会社ミズサワセミコンダクタ/みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
 株式会社三ツ星商会/南建設株式会社/宮城建設株式会社/三八五観光株式会社/名鉄観光サービス(株)盛岡支店
 株式会社明和土木/盛岡商工会議所/医療法人友愛会 盛岡友愛病院/有限会社谷地林業/株式会社ヤマイチ/株式会社やよいディライト
 株式会社ユニバース/株式会社Yume ka/株式会社吉田測量設計/有限会社吉野電設/株式会社米澤商事/株式会社リベスト
 菱和建設株式会社/DOWA 通運株式会社/社会福祉法人若竹会 (※太字下線は新規入会団体)

賛助会員一覧 (個人)

菅 里美/藤村 誠/堀川 裕二/白畑 由貴子/浅沼 秀夫/阿部 志郎/村田 美幸/高橋 千恵子

バナー広告掲載中!

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下80団体のバナー広告を掲載中。その他、掲載依頼がありましたら随時、当協会HPにアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。
